

**第六期長期策定委員会 傍聴者アンケート**  
**第4回実施分（平成30年9月28日開催） 自由記載欄**

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

- ・職員アンケートにホンネが書いてあったのがよかった
- ・長計を読んだことがない職員がいることにおどろいた。大丈夫でしょうか？
- ・財政計画については、本日の議論にあった通り最新のデータに基づいて定めていただきたいと考えます。投資的経費の分野別計画が進展していることも、反映させて下さい。
- ・市民目線、住民自治の視点で計画を策定してほしいです。  
安心して暮らせるとはどんな暮らしなのか、魅力ある活力あるまちとはどんな町なのか、議論したいですね。美しい言葉はいらないです。  
武蔵野らしさって何だろうね。とても参考になる意見でした。
- ・後半のブレインストーミングが興味深かったです。  
様々な立場の方の考えが意見としてかわされていくのが良いです。
- ・長計は行政計画であり行政（自治体）がすべき課題を示すものと理解している（「公共計画」ではない）
- ・「民間活用」と「市民協働」では、かなり意味合いが異なる。（豊かな都市にはもうかる目的の民間は集まる）
- ・資料6-1の議論がとてもよかった。
- ・特に基本目標&基本課題等で決定するプロセスに関する内容
- ・市民サービス対称について（サラリーマンも含めて）。多様性
- ・ブランディング、利益を得る活動も（増収の多カクカ）

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

- ・資料6-1に「支え合い」というキーワードが出てくる。また「共働」という発言もあった。要は市民が働くのだが、職員は市民として、それは他市かもしれないが、働いていますか？ 職員も市民として活動しよう！ 楽しいよ。
- ・高齢 v s 子育て世代となりがちですが、介護離職を防ぐためには、地域包括ケアが確立する必要があり、一定の施設整備も必要です。子育ても介護も一層の社会化を前提に、総合的に組み立ててください。  
目標として新しい時代の価値をつくる。高いリテラシーを保つ街。 というような知性・文化を大切にしている点を入れてほしいです。
- ・マイクを通すと聞きとれない発言者がありました。
- ・Web上のアップが早くてタイムリーに委員会状況がわかり助かります。

- ・市職員のアンケートは貴重であった。回答が少ないことや長計への係わりがうすいことには気がかりですが…（忙しいのかもしれませんが、それではダメです）
- ・大変有意義な内容であった。

(※文字及び文章はアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。)